

関西を支える 一級河川

淀川



淀川は、滋賀県の琵琶湖を水源として京都府及び大阪府を流れる一級河川です。琵琶湖から離れるにつれて瀬田川、宇治川、淀川と名前を変え呼ばれます。主に桂川・木津川との合流地点より下流を淀川と呼びます。

淀川のナンバーワン

※ 支流数日本一 ※

非常に多くの河川からなる淀川水系の総支流数は960本を超え、支流数日本一を誇ります。二位は信濃川で、880本の支流からなるといわれています。関西の人々のそばには常に淀川水系があるのです。

※ 流域人口西日本一 ※

三重・滋賀・京都・大阪・兵庫の2府4県にまたがる淀川水系は流域人口が西日本で一番多く、8240平方キロメートルの流域面積は瀬戸内海に流入する河川の中で最も広いです。淀川は関西圏に住む人々の生活を支えています。

